



文京 白ばら

題字 和田 清

第 65 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

白ばらセミナー・若者フォーラム

【第二部】



コーディネーター
原田 謙介 氏 (NPO法人 Youth Create 代表理事)

パネリスト
雄大 氏 (学生団体 ivote 副代表)
今井 郁弥 氏 (NPO法人僕らの一歩が日本を変える。理事・広報局長)
大山 佳純 氏 (MINATO「選挙いっ得?!」プロジェクト)

アドバイザー
池田 清彦 氏 (第一部講師)

【第一部】



熱弁をふるう池田先生

平成29年12月16日、文京シビックホール 小ホールにおいて「白ばらセミナー〜明るい未来を創るために〜」を開催しました。第一部は、早稲田大学教授の池田清彦氏を講師に迎え、「あなたが決める日本の未来」と題した基調講演を行いました。その内容は、民主主義や偉人について様々な角度から掘り下げられた興味深いもので、あっという間の75分間でした。続く第二部では、NPO法人 Youth Create 原田謙介氏を中心に、若者の投票率や政治参画意識の向上を目指し活動している若者で構成された

3団体からの登壇者によるパネルディスカッションを行いました。

選挙出前授業・模擬選挙

将来を担う児童・生徒が、選挙権を得たとき、積極的に投票所へ足を運んでもらえるよう、選挙に関する参加・体験型の授業を、学校からの依頼により実施しています。

◆中学校 第六中学校

今年度、初めて第六中学校から依頼を受け、選挙出前授業を行いました。



新しい試みとして、開票では、実際の作業に近づけるため、生徒の投票は裏方で集計し、それとは別に一定量の投票を用意することで、体験部分を重視した方法を採用しました。

また、開票体験後の学生団体による講話では、政治に興味を持つ試みとして「選挙ごとに自分なりの争点を見つけることで、選挙がより身近なものになっていく」といった内容に、生徒は聴き入っている様子でした。

音羽中学校

音羽中学校では、昨年度から、投票前に各候補者の政策の違いを話し合う、グループワークの時間を設けることで、それぞれのメリット・デメリットについて話し合い、候補者の演説した内容を整理したうえで、投票することができました。

◆小学校

今年度は、初めて鶯籠町小学校から依頼を受けました。争点は「仮に授業日数が増える場合、その時間をどのように割振るか」といった、児童に身近な内容について考え、投票しました。

また、本郷小学校においては、昨年と同様、「リクエスト給食選挙」と題し、実際の給食メニューを決める模擬投票を実施しました。

◆高校

昨年度の私立獨協高等学校等に加え、今年度は、複数の都立高等学校から実施の依頼を受け、事前に打ち合わせた内容からそれぞれが特徴のある出前授業になる予定です。



プログラムの一例
選挙に関する講話の後、児童・生徒にとって身近なテーマを争点に、学生団体との協力のもと、仮想区長の模擬選挙を行っています。実際の選挙と同様、選挙公報やポスター掲示場を作成することで、事前に候補者の政策に触れてもらいます。さらに、授業並口には候補者演説を行い、生の声を聴くことで、選挙公報やポスターから受けた印象との違いを整理し、自分の投票先を決めます。投票の際は、投票所で使用している用紙交付機や記載台を配置し、前もって全員に入場整理券を配付することで、より本番に近い環境を整えています。また、開票では、各クラスの代表者数名が、票を候補者ごとに分類する作業や、計数機を使用し得票数の計算作業を行うなど、事務を実体験します。それ以外の児童・生徒は、それぞれの行程を見学します。模擬選挙では、よき選挙に対する関心を高め、投票を体験してもらっています。



平成29年衆議院議員選挙の結果

様々な疑惑に国会は揺れており、誰もが年内の衆議院解散はまずないものと踏んでいた状況の中で、突如吹きはじめた解散風。史上4度目となる、国会冒頭での首相の解散表明により、一気に選挙モードに突入しました。事前準備もままならず、極めてタイトなスケジュールの中で、推進委員をはじめ、関係各位の並々ならぬ協力をいただき、何とか無事に乗り切ることができましたことを、心より、深く御礼申し上げます。

突然の解散であったことはもとより、今回の選挙では、投票日当日の日本列島に大型台風が直撃するとの報道が、よりいっそう状況を混乱させました。気象庁が期日前投票を推奨するという異例の事態となり、投票日前日の文京シビックセンターアートサロンの期日前投票所では、今まで経験したことのない長蛇の列が正面入口にまで続き、投票を待つ人の



列がなお幾重にも連なるという、普段では見られない光景が、延々と投票終了の午後8時まで続きました。

また今回は、小選挙区の区割り改定後、初の選挙でもありました。文京区全域を含む東京都第2区も区域の変更がありました。本区を分割するような改定でなかったため、影響は少なかったのですが、特に区割り変更で分割された自治体への負担は、非常に大きかったようです。

今回も都内23区26市における投票率第1位を記録

小選挙区、比例代表とも文京区が、前々回・前回に続いて、投票率第1位となりました。これは、東京都全体の投票率が、前回同選挙の54・36%から53・64%に若干下がったのに対し、文京区の今回投票率61・54%は、前回の61・05%を上回った結果からも明らかです。

しかしながら、若年層の文京区の投票率を、28年の18歳選挙権法施行後初の参院選と比較すると、10代で67・90%から53・75%に低下し、

衆議院議員選挙23区投票率

区名	順位	投票率(%)
千代田区	2	60.31
中央区	3	56.28
港区	18	52.07
新宿区	12	53.44
文京区	1	61.54
台東区	11	54.38
墨田区	19	51.90
江東区	4	55.57
品川区	7	54.61
目黒区	10	54.43
大田区	16	52.24
世田谷区	5	55.37
渋谷区	15	52.58
中野区	13	53.04
杉並区	6	55.26
豊島区	20	51.90
北区	8	54.47
荒川区	17	52.08
板橋区	14	52.61
練馬区	9	54.45
足立区	23	47.69
葛飾区	21	50.27
江戸川区	22	47.76
東京都合計		53.64



文京Vote Supporters活動報告



12月に開催された定例会議において、「インターネットを活用した啓発」について、Vサポとして取り組んでいくことが決まりました。現在、メンバーによりSNSなどの開設準備が進められております。これからの新しい啓発活動にご期待ください！

20代でも48・33%から43・39%に低下しました。この結果を受け、事務局としては、明るい選挙推進委員の皆様などとともに、引き続き、若年層啓発に根気強く取り組んでまいります。

大学学園祭での啓発

平成29年11月4日(土)、東洋大学白山キャンパスにおいて、啓発活動を行いました。

今年も一日限定の特設ブースを設け、模擬投票や啓発資料の配布等を行いました。

意外だったことは、昨年10月の衆院選での文京区の投票率があることについて、驚きの声が多く聞かれた点です。今回の啓発活動が良いPRの場となりましたが、これからも積極的に様々な機会を捉え、結果の周知に努めたいと思います。

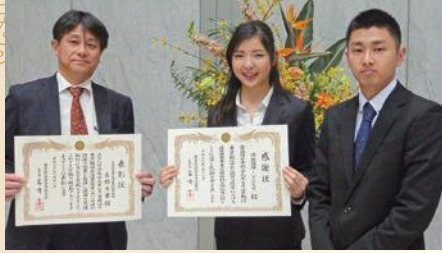
また、アンケートでは、選挙に行く、行きたいという前向きなコメントが多く寄せられたのに加え、選挙について考えをきっかけになったという声もありました。



当日は、例年になく想定以上の人がブースへと足を運んでくれたことから、とても効果的な啓発活動が行うことができた。



東京都議会議員選挙表彰



平成30年1月18日(木)、東京都庁シセプションホールにて、平成29年7月2日執行東京都議会議員選挙の表彰式が催され、学生団体「iLove」が協力団体として感謝状を授与されました。

当団体は、本区における選挙出前授業・模擬選挙をはじめとする常時啓発活動に留まらず、都議選における『やわらか選挙公報』の作成などの活動が評価されたもので、東京都選挙管理委員会からもその功績が認められたことは、推薦した当委員会としても大変嬉しく感じております。

また、併せて事務局次長の眞野文孝が職員表彰を受賞しました。

これは、常口頃から明るい選挙推進

委員の皆様など、関係各位のご協力あつてのことであり、この場をお借りして、改めまして厚く御礼申し上げます。

都明るい選挙推進大会 永年功労者表彰



平成29年11月1日(水)、府中の森芸術劇場のホールで開催された、東京都明るい選挙推進大会に出席しました。

主催者や来賓の挨拶に続いて行われた、明るい選挙推進運動永年功労表彰では、区部を代表して、駒込地区の植野委員が、壇上にて20年表彰を受けました。

受賞をされた皆様には、長年に亘るご尽力とご活躍に感謝申し上げます。

明るい選挙推進運動 永年功労者

《20年表彰》

- 湯島地区 湯浅セツ子委員
 - 駒込地区 植野久代委員
 - 駒込地区 大畑雅一委員
- ##### 《10年表彰》
- 音羽地区 上野克子委員
 - 向丘地区 小川清子委員
 - 汐見地区 小泉敏夫委員
 - 汐見地区 武藤富男委員



管外視察



総選挙から1か月後の平成29年11月21日(火)、横浜にある日産自動車の工場（エンジン組立て工程等）と税関を、総勢50人の明るい選挙推進委員等で視察しました。

日本の高度経済成長を支えた自動車産業の現場と、外国との最前線で国の治安を守る重要な役割をなす税関について、あらためて考える良い機会となりました。

今後の話しあい活動に繋げてまいります。

るびー



向丘地区
尾藤育美

明るい選挙推進委員をお引き受けしてから数年が過ぎましたが、制度の変更に伴って、期日前投票所へお越しになる方が、前回より今回事業が増え、とても嬉しい事だと思っております。

また、選挙当日の立ち会いもさせて頂き、子ども連れの若いご夫婦の方、家族の方に手を引かれながらの方、車椅子の方と、様々の人達が笑顔で、一票を大切になさっております。

そこで、若い方をお見受けした際は、「今回が初めてですか。今後もよろしくお願ひします。」と、心の中で呟いております。

今後も微力ながら、明るい選挙の啓発活動をみなさんと一緒に行っていきたいと思っております。



明るい選挙啓発ポスターコンクール

「明るい選挙」の推進と若年層への啓発も兼ね、毎年行っている『明るい選挙啓発ポスターコンクール』に、今年も区内の小・中・高校生から254点の作品が集まり、審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞15点、入選14点を選定しました。さらに東京都の審査では文京区優秀作品の中から、1点が東京都入選に選ばれ、続く全国（中央）審査においても入選しました。今回、文京区のも最優秀賞と東京都で入選に選ばれた2つの作品は、これから作成する区内転入者への選挙啓発用リーフレットに使用する予定です。また、ポスターコンクール協力校として、区立指ヶ谷小学校、区立本郷台中学校に感謝状が贈られました。

中央審査入選・
東京都入選・
文京区優秀賞



都立工芸高等学校1年 永井 遥さん

文京区最優秀賞



指ヶ谷小学校4年 池端 友梨さん

文京区優秀賞



窪町小学校3年 片岡 陽子さん



小日向台町小学校3年 佐藤 慈真さん



茗台中学校1年 熊野 仁愛さん



都立工芸高等学校1年 池田 桃子さん



第三中学校3年 田中 颯太さん



第六中学校2年 布施 宏樹さん



本郷台中学校1年 志村 夏子さん



文京区入選受賞者 (敬称略)

小学生の部		
学校名	学年	氏名
指ヶ谷小学校	6年	伊藤 詩乃
	6年	加藤 のどか
	6年	川瀬 和彩
	6年	小林 美海
本郷小学校	3年	南側 凜司
千駄木小学校	3年	榎本 愛香
明化小学校	2年	櫻井 もも
中学生の部		
学校名	学年	氏名
本郷台中学校	3年	田村 真千
	3年	和田 紫陽
	2年	鳴海 碧
第三中学校	2年	伊藤 なお
	3年	石井 涼香
	3年	奥定 凜
高校生の部		
学校名	学年	氏名
都立工芸高等学校	1年	藤間 萌絵



都立工芸高等学校1年 小竹 杏奈さん



都立工芸高等学校1年 岩片 智さん



都立工芸高等学校1年 田口 波留香さん



都立工芸高等学校1年 御給 みのりさん



都立工芸高等学校1年 今木 陽菜さん



都立工芸高等学校1年 佐久間 穂香さん



都立工芸高等学校1年 柳瀬 愛結さん

選挙人名簿登録者数(3月1日現在)

合計	178,329人
女性	94,530人
男性	83,799人

編集委員

岩瀬 弘子・綱島 悦子・坂巻 三登
筒井 幸代・鎌倉 精一・尾藤 育美
武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子

(地区順)

紙面に目を凝らして校正する緊張感はなかなか新鮮です。
編集委員として、選挙という狭いジャンルの中ですが、少しでも変化のある紙面を構成し、選挙啓発の一助を担いたいと思います。(富所由紀子 記)

最近では、パソコンやスマホで文章を作ることが多くなりました。漢字にもだんだん疎くなり、ともすると変換ミスも見逃したりしてしまいます。そんな時、間違いが無いようにと白ばらの紙面に目を凝らして校正する緊張感はなかなか新鮮です。

最近では、パソコンやスマホで文章を作ることが多くなりました。漢字にもだんだん疎くなり、ともすると変換ミスも見逃したりしてしまいます。そんな時、間違いが無いようにと白ばらの紙面に目を凝らして校正する緊張感はなかなか新鮮です。



CATVのミステリーチャンネルでは「ネコちゃん総選挙」、高崎山では「サルの総選挙」が行われ、いずれもなかなかの高投票率だったとか。

編集後記

人間の選挙の方は人気投票とは違いますので同列に考えることはできませんが、「是非投票に行きたい」と思わせてくれるような選挙戦を展開してほしいものです。